

■コメント

1. 手足口病

定点当たり7.79人とやや減少しましたが、依然多い状態が続いています。

全国的にも手足口病の患者報告数が増加傾向にあり(次頁参照)、過去10年間で二番目に多い状況となっています。引き続き手洗いの励行など、感染予防対策を徹底しましょう。

2. 咽頭結膜熱

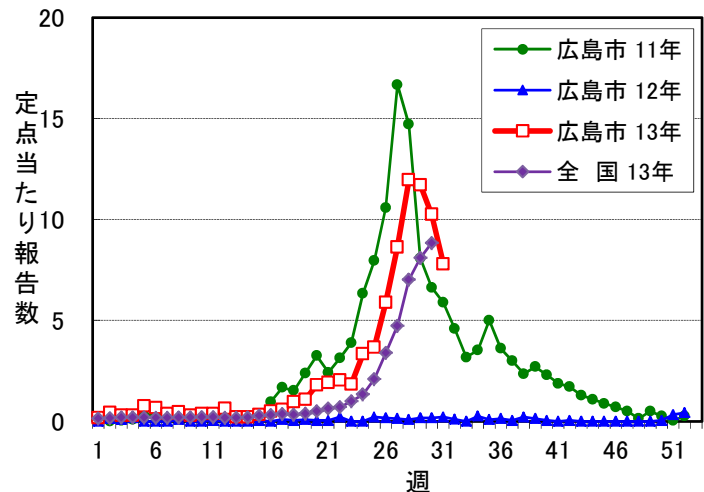
定点当たり1.42人と、例年より多い状態が続いています。

咽頭結膜熱は、プールでの感染も多くみられることから「プール熱」とも呼ばれています。手洗い・うがいの励行など、感染予防を心がけましょう。

3. 無菌性髄膜炎

6件(定点当たり0.86人)の報告があり、例年同時期と比べて多くなっています。

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.08		ヘルパンギーナ	27	1.13	2.38	→
咽頭結膜熱	34	1.42	0.35	→	流行性耳下腺炎	8	0.33	0.82	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.04	0.80	→	RSウイルス感染症	12	0.50	0.08	
感染性胃腸炎	133	5.54	2.83	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.10	
水痘	13	0.54	0.76	→	流行性角結膜炎	9	1.13	0.58	
手足口病	187	7.79	1.86	→	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.24		無菌性髄膜炎	6	0.86	0.06	
突発性発しん	11	0.46	0.77		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.32	
百日咳	1	0.04	0.11		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	112	女性(10歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			A群溶血性レンサ球菌咽頭炎																		
			インフルエンザ	咽頭結膜熱	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			
報告数	広島市	第27週	-	37	30	104	20	207	-	14	-	31	9	2	-	11	4	-	-		
		第28週	-	33	22	74	26	287	-	9	1	17	9	3	-	9	-	4	1		
		第29週	-	46	12	93	15	281	1	10	-	26	8	3	-	13	-	2	-		
		第30週	-	36	31	108	20	246	2	12	2	25	11	8	-	10	1	1	-		
		第31週	-	34	25	133	13	187	-	11	1	27	8	12	-	9	-	6	1		
定点当たり	広島市	第27週	-	1.54	1.25	4.33	0.83	8.63	-	0.58	-	1.29	0.38	0.08	-	1.38	0.57	-	-		
		第28週	-	1.38	0.92	3.08	1.08	11.96	-	0.38	0.04	0.71	0.38	0.13	-	1.13	-	0.57	0.14		
		第29週	-	1.92	0.50	3.88	0.63	11.71	0.04	0.42	-	1.08	0.33	0.13	-	1.63	-	0.29	-		
		第30週	-	1.50	1.29	4.50	0.83	10.25	0.08	0.50	0.08	1.04	0.46	0.33	-	1.25	0.14	0.14	-		
		第31週	-	1.42	1.04	5.54	0.54	7.79	-	0.46	0.04	1.13	0.33	0.50	-	1.13	-	0.86	0.14		
	全国	第29週	0.05	0.55	1.05	3.26	0.72	8.09	0.06	0.60	0.01	2.84	0.28	0.20	0.01	0.61	0.01	0.08	0.40		
		第30週	0.03	0.58	1.13	3.34	0.73	8.83	0.05	0.62	0.01	3.38	0.28	0.26	0.01	0.69	0.03	0.08	0.42		

■新たに判明した病原体検出状況

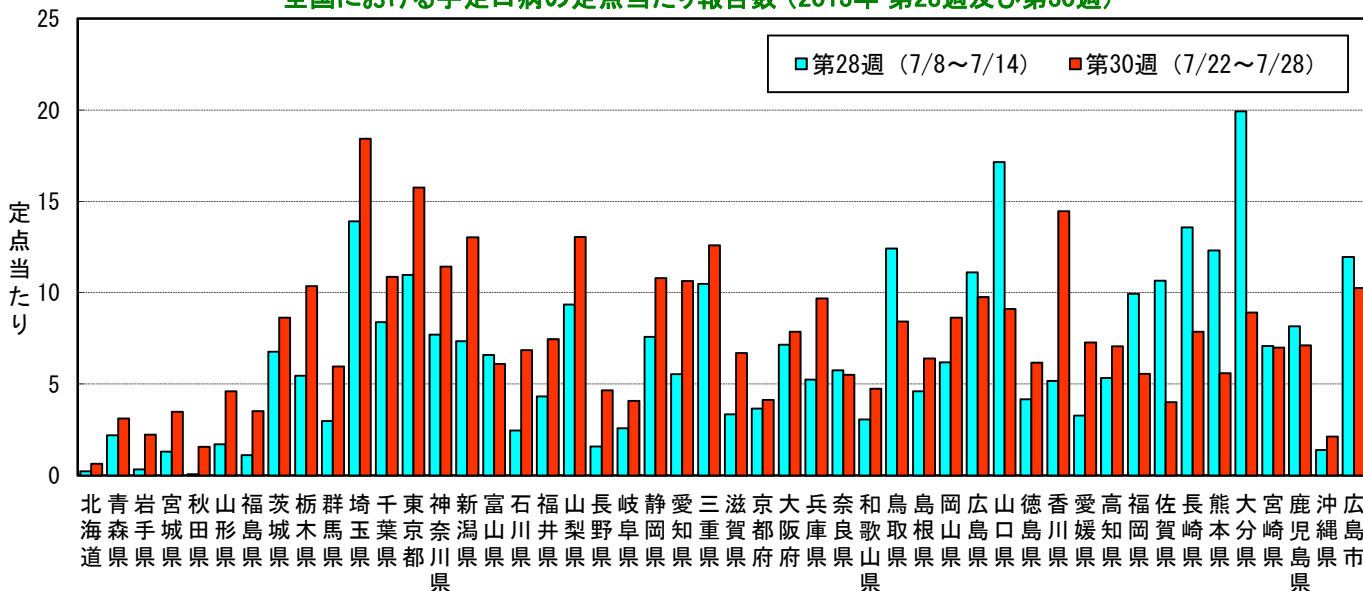
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	発熱(39.0) 嘔気・嘔吐 頭痛 髄膜炎	4	男	2013/06/20	髄液	エコーウイルス6型
無菌性髄膜炎	発熱 髄膜炎	7	女	2013/06/19	髄液	エコーウイルス6型
無菌性髄膜炎	発熱(38.9) 髄膜炎	0	男	2013/06/28	髄液	ヒトヘルペスウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】全国における手足口病の流行状況

全国における手足口病の定点当たり報告数(2013年 第28週及び第30週)



手足口病は、第28週の時点では西日本を中心に報告数が多い状況となっていました。第30週では東日本を中心に増加傾向となり、西日本の一部では減少傾向がみられます。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第31週(7月29日~8月4日)